

放課後等ディイサービス 自己評価表 (ぐりおくらぶ)

公表：令和4年3月18日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		スペースが狭いとの意見はあるが、必要に応じて部屋を分けて集団を分散するなどの工夫をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			勤務時間が違う非常勤職員の参加に課題があるが、引継ぎノートなど使用して対応している。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者からいただいた意見については真摯に受け止め、事業所として改善に努めています。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページなどで公開しているか	○			法人ホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者評価については実施していない。定期的にSVによる外部評価を受け、支援内容の充実に努めている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		職員資質の向上を目指して法人内外の研修に参加しているが頻度など問題もある。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか		○		個別支援計画についてはニーズ、課題など分析しているが作成に反映できていない部分もある。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		アセスメントツールについては詳細などを掘り下げる物を作成する必要がある。
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		○		家族支援、地域支援については把握できていない部分がある。今後は家族、学校などと光に連携を取り巻く環境の把握に努めていく必要がある。

適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか		<input type="radio"/>		事業所全体として支援を実践できたいな部分がある。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか		<input type="radio"/>		担当者が立案して職員が意見を出し合っています。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		<input type="radio"/>		
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか		<input type="radio"/>		基本的には集団活動に対して計画を立案しているので、個別活動については内容的に不足している部分もある。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		<input type="radio"/>		毎日の打ち合わせで実施している。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		<input type="radio"/>		
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		<input type="radio"/>		
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか			<input type="radio"/>	スムーズに作成できずに実施時期が遅れてしまうことがある。スケジューリングを徹底する必要がある。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		<input type="radio"/>		
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		<input type="radio"/>		
関係機関や保護者との連携	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				当事業所では該当なし
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				当事業所では該当なし
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			<input type="radio"/>	放課後等デイサービスとの関わり少ない。
	㉕	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		<input type="radio"/>		必要に応じて実施している。

関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	<input type="radio"/>			必要に応じて実施している。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			<input type="radio"/>	
	㉘	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		<input type="radio"/>		
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		<input type="radio"/>		送迎時や連絡ノート等の活用をしているが共通理解まで至っていない部分もある。今後は保護者との連絡を密にとり共通理解できるように努めていく。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか			<input type="radio"/>	送迎時や電話、面談などでご家族の相談は対応していますが、ペアレントトレーニングの時間を設けて実施はしていない。
	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>			
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		<input type="radio"/>		
	㉝	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		<input type="radio"/>		職員のスキル不足により適切な助言、支援が実践できていない部分がある。
保護者への説明責任等	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			<input type="radio"/>	各家庭の事情を配慮して実施していない。
	㉟	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		<input type="radio"/>		迅速に対応することを心掛けている。
	㉟	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			<input type="radio"/>	会報等の配布ができていない。保護者からの要望も多いので改善して来年度には実施する。
	㊀	個人情報の取扱いに十分注意しているか	<input type="radio"/>			
	㊁	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>			
	㊂					
	㊃					
	㊄					

	⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	各家庭の事情に配慮して参加してもらう機会は設けていない。
非常時等の対応	⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		各種マニュアルは作成しているが、保護者への周知は不十分である。
	⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			防災訓練は年間2回実施しています。
	⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			利用契約時にアレルギーなどの確認を実施している。
	⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書がある場合は保護者から情報提供していただいている。
	⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			職員に周知して事故防止の意識を向上するように心掛けている。
	⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年間1回虐待防止研修を実施している。また、第三者からの視点を意識して日頃の支援を実施している。
	⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		該当するケースは無いので児童発達支援計画に記載していません。しかし、虐待防止研修を通じて身体拘束の必要性などを学んでいます。